

ZOOM IN
FUKUCHI

↓ 地区の代表者など「白髪神社神幸祭」の関係者21人が、お揃いの法被姿にマスク着用で参加した神事。



伝 赤坂・白髪神社神幸祭 伝統ある「神幸祭」苦渋の中止

大型連休中の風物詩「赤坂・白髪神社神幸祭」を中止する祝詞を挙げる神事が、5月4日に両神社で行われました。今年、新型コロナウイルス感染症対策のため、戦前から続く神幸祭の中止を断腸の思いで決断。白髪神社の仲村五十彦総代(伊方)は「開催できなかった悔しさを存分に晴らしたい」と落胆をにじませながらも、来年への決意を固めていました。

宝見保育園に藤本ひとみさんが手作りマスク寄贈 密防げない保育士へマスクを寄贈

宝見保育園に以前給食員として務めていた藤本ひとみさん(伊方)が、保育士17人分の手作りマスクを寄贈しました。藤本さんは「感染症が早く収束し、平穏な日々が戻ってきますように」と願いを込め作製。若林園長は「かわいいデザインのマスクに子どもたちも喜びます。大事に使わせてもらいます」と言葉を交わしました。



↑ 「アベノマスク」ならぬ「ヒトミマスク」と先生たちにも大好評の手作りマスク。

↓ 「相変わらずきれいやね」と、かつての思い出と一緒に藤鑑賞を楽しんだ夫婦。



定禅寺「迎接の藤」 コロナ自粛で疲弊した心癒す満開の藤

町内外問わず多くの人に愛される定禅寺「迎接の藤」が4月29日ごろに満開を迎えました。新型コロナウイルス感染症の影響で来訪者は激減し、毎年行われる「藤まつり」も感染症対策として中止に。今年の藤は、外出自粛で疲れた心を癒めるかのような咲き方で、観賞者たちの「コロナ疲れ」をいやしていました。

福智の風

▶ 「災害は起きない」と高をくくっていた2年前の私を突如襲った「西日本豪雨」。町内のあらゆる箇所が浸水するなど、瞬間に大雨が町を飲み込んでいく様子を目の当たりにしながら何もできない自分を悔しく感じたことを今でも覚えています。今回は、その経験を反面教師にコロナの危険性も踏まえた「複合災害」を題材に特集を作成。どちらのリスクからも生き抜くために、皆さんもこの機会に「防災」へ意識を向けていただければ幸いです。(藤本)

▶ 今回は4ページを使って福智町でテイクアウト・デリバリーができる飲食店を紹介した「#福智おうち飯」を作成。取材時に、飲食店を経営する皆さんが口をそろえて「店内飲食は極端に減った」とお伺いしました。外食を控え、おうち時間を過ごしている皆さんにはおいしい料理を持帰り・配達できる福智町の飲食店がこんなにも多くある」ことを知っていただき、ぜひその味をご自宅でご堪能いただければと思います。(世良)

暁の日差しに映えて山新樹	池田 駒女
二合半の酒下げ尋ね春炬燵	大井 良治
木洩れ日に纏はりながら揚羽蝶	木村 誠一
仰ぎ見る花も名残りの由布の峰	藤井耿之介
スーパームーン久方ぶりに春灯	落合 東太

薰風や鞍馬は木々のタペストリー	宮崎富美子
里山の静寂に目覚め時鳥	山本ひろし
青々と孫の背丈も今年竹	高津澄子
遠景やつづく山脈夏がすみ	池田 駒女
白旗の少女、ガマより死のよきれども	藤井耿之介
其れ其れの受け止め方を花筵	檜 幽可

四季の歌

心映の投句 俳句・短歌教室の詠歌紹介

花吹雪浴びて花守る六地藏	馬郡 京子
眠い春コロナニュースで目覚めけり	藤本 鈴子
友達の増えてデイケアあたたかし	植木 千エ
春筍の伸びる早さに驚きぬ	福島ソマコ
庭の草むしる春の日背に浴びて	松若 光子
春愁や地球はひとつ感染症	山田 花子

ばあいた 福智町の魅力を
ご紹介!

DATE: Jun.2020 NO: 022

文化財編

● 全国的に珍しい装飾大刀の柄頭

獅嚙環頭

古墳時代は反った「太刀」ではなく、直線状の「大刀」が主流→

金田(人見)地区付近の「神崎1号墳」から出土したとされる「獅嚙環頭」。金のメッキが施された獅子が「環」をかむ様子を表現したこの柄頭は、もともと朝鮮半島で製造され、6~7世紀頃に日本へ持ち込まれたと考えられています。

九国博所蔵の「獅嚙環頭」と大刀のイメージ図

似た資料は全国で33例しかなく、貴重な文化財として九州国立博物館が所蔵。黄金の輝きを保ち続ける「獅嚙環頭」は、現在でも多くの人を魅了してやみません。

● 観光サイト「ゆた〜とふくち旅」へ→

町の魅力はHPもチェック!